君に愛の月影を（1970）

LES CAPRICES DE MARIE
GIVE HER THE MOON
LES FIGURANTS DU NOUVEAU MONDE

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス　コメディ
製作国 フランス
色彩 Color
時間 93分
初公開日 1972/01/29
公開情報 ＵＡ

【キャッチコピー】
アッと言う間に　大富豪の婚約者　望めばお月様でも買えるの……　でも私の欲しいのは…〈愛〉
フランス映画が思いきり粋なパリ・スタイルの　ロマンスを創りました。

【解説】
　トボけたコメディの名手ド・ブロカらしい大人のおとぎ話で、楽しい場面に事欠かないが、Ｍ・ケラーにさほど魅力を感じず、また相手役のＢ・コンヴィもちょっと品が無さ過ぎて、助演陣が粒揃いなだけに、これは主演者でしくじった作品だ。時が止まったような北フランス・アンジュバン村。映画館兼カフェの店主で村長のレオポルドは気骨のある左翼で、ニュース映画の戦争報道や、新聞の好戦的記事にハサミを入れてしまう。年に似合わず大きな娘がいて、映画館で売り子をして村中の人気者だ。彼女マリーが海へ行くと聞けば、老若男女がその後を追って、小学校教師のガブリエル（ノワレ）も子供たちが飛び出したのを幸いに水着の彼女を眩しく眺めるのだった。彼は村のお偉方から彼女の結婚相手にと目されまんざらではないが、小心過ぎて告白ができない。そのうち、“海の女王”コンテストに近くの町に出かけたマリーは優勝をさらい（と言っても出場者わずか４名で貧相この上ないのだが）、ガブリエルが祝福に来たときは既に、外聞のため離婚結婚を繰り返すアメリカの若き大富豪の次なる婚約者とされてしまった。彼、ブロデリックにＮＹに連れられ、すぐにホーム・シックで村の物をあれこれ取り寄せるマリーに、彼は、だったら村ごと引っ越してしまえばいいと、ガブリエルだけ残してアンジュバンはＮＹへ移転。かかった費用を埋めるため、見物料を取ったから大変だ。自由の女神に見下ろされる牧歌的な村を低空でジェット機がかすめ、大勢の観光客が押し寄せる光景はケッ作。ここでアメリカ映画だったらこってりと文化ギャップで笑わせるところを、意外とあっさり片付けたはいいが、マリーの落胆を見て大富豪の方から生来の強がりで別れを切り出す結末は唐突すぎ。コンヴィがちょっとダドリー・ムーア風に猪突猛進で全く溜のない芝居をするので、その感が強まる。

【クレジット】

監督	フィリップ・ド・ブロカ	Philippe de Broca
製作	クリスチャン・フェリー	Christian Ferry
脚本	ダニエル・ブーランジェ	Daniel Boulanger
	フィリップ・ド・ブロカ	Philippe de Broca
撮影	ジャン・パンゼ	Jean Penzer
編集	アンリ・ラノエ	Henri Lanoe
音楽	ジョルジュ・ドルリュー	Georges Delerue
出演	フィリップ・ノワレ	Philippe Noiret
	マルト・ケラー	Marthe Keller
	ヴァレンティナ・コルテーゼ	Valentina Cortese

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

フランソワ・ペリエ	Francois Perier
フェルナン・グラヴェ	Fernand Gravey
バート・コンヴィ	Bert Convy
ジャン＝ピエール・マリエール	Jean-Pierre Marielle
ディディ・ペレゴ	Didi Perego
アンリ・クレミュー	Henri Cremieux
コリン・ドレイク	Colin Drake
マルク・デュディコール	Marc Dudicourt

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.